

# いま話題の抗体医薬品とは？

製薬企業現場の実例を紹介しながら解説します



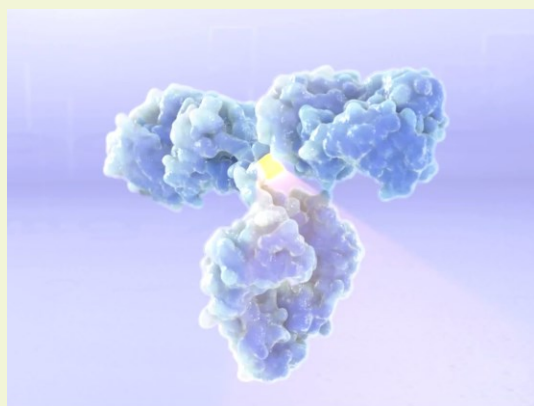
## 前田 龍 博士

名古屋大学大学院理学研究科  
MabGenesis産学協同研究講座・特任講師

本年11月より理学研究科にMabGenesis産学連携講座を開設させていただきました。2000年代に入り、従来の化学合成による低分子医薬品に加えて、生体内高分子、特にモノクローナル抗体を医薬品に応用する抗体医薬品の開発が盛んになり、世界中の製薬企業がしのぎを削ってきました。その結果、2021年の医薬品世界市場トップ20のうち12品目が抗体医薬品を中心とするバイオ医薬品で占められ、世界最大の売上を誇る抗TNF $\alpha$ 抗体医薬品・ヒュミラは320億ドル、4兆円を超す売上を計上しています。また昨年には、上市された抗体医薬品が累計100品目を超え、抗体医薬は隆盛を極めていると言っても過言ではありません。

本セミナーでは、抗体医薬品の基礎を分かりやすく説明いたします。併せて演者が実際に経験した抗体医薬品の開発及び製造に関して実例を示しながら解説していきます。また、MabGenesis株式会社が保有する抗体取得プラットフォーム、抗体ファージディスプレイライブラリーを用いたペット用抗体医薬品、特に、イヌやネコの疾患を標的とした抗体医薬品についても紹介いたします。

世界の医薬品開発では分業が進んでおり、当社のような先端バイオ技術を有する企業が医薬品の探索研究を担い、大手製薬企業は製薬シーズをライセンスインして上市に持つていくことが一般的となっています。理学系の学生・大学院生のキャリアパスとしてのバイオベンチャー企業への就職についても皆さんと議論できればと考えています。



日時：12月14日(水) 15:00-16:30

場所：理学部A館2階 A222

問い合わせ先：

荒木聡彦 ([saraki@bio.nagoya-u.ac.jp](mailto:saraki@bio.nagoya-u.ac.jp), 内線6253)